

アプリかんたんマニュアル

アプリインストールから利用するまでの操作手順を記します。

※無料版でお試しの場合は6ページの機能制限をご確認ください。

① アプリをダウンロードする

お使いのスマホに、アプリをダウンロードしてください。



② 初期設定をする

1. アプリを起動し、利用規約への同意、スマホ端末への許可を行うと利用開始できます。

2. 任意のユーザー名を入力し、[SUBMIT]をタップしてください。



「利用規約の同意」
「音声録音の許可」
「位置情報の許可」
「電話発信の許可」
「メディアへのアクセスの許可」が必要になります。

※Androidの場合です。iOSでも類似の許諾が必要です。



ユーザー名は後から変更できます。

③ サーバーに端末を登録する (無料版の場合はありません。④へスキップ)

1. [QRコードリーダー]を起動します。

2. 管理者が持つ管理画面のQRコードを読み取ってください。管理画面に端末が登録されます。



右の管理画面に登録がされたら、この部分の名称が変わります。

QRコードを読み取ります。「カメラへのアクセス」を許可してください。

QRコードリーダー



※登録用のQRコードは、表示する度に異なるものが表示されます。QRコードを表示している間だけ登録が可能となり、画面を閉じるなどすると登録ができなくなります。

④ グループを作成する

1. [グループ追加ボタン]を押します。



2. グループを作成します。各項目を入力して、最後に[SET]を押してください。



3. これでグループが作成されました。グループは複数作成できます。



!! 注意!!
同じサーバー内で、国名、番号、タグ名が一致すると同じグループに参加することになります。

⑤ グループを共有する

1. グループの右端にある、矢印マーク[QRコード表示ボタン]を押してください。



QRコード表示ボタン

相手から共有を受ける場合は、QRコードリーダーを起動して下さい。

2. 別の端末でこのQRコードを読み取ってください。グループを共有できます。



遠隔などの場合は、[共有ボタン]でメール等でグループ情報を送ることができます。

⑥ 通話する

1. グループを選んで、[電源]を押すと、通信を開始します。



会話したいグループを選びます。同時に6グループまで接続ができます。
※無料版は1グループのみ接続可能です。

グループを選んだら、電源を押してください。電源ボタンがオレンジになったら、会話開始です。

2. [PTTボタン]を押す、もしくは下にスライドさせると、自分の声を相手に送ることができます。



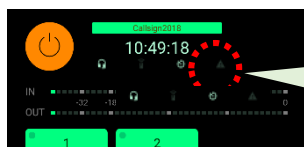
この部分がオレンジ色に変わっている時に、自分の声が送れます。

PTTボタンを下にスライドさせると、PTT状態がホールドされます。(左図)

※ヘッドセットを接続している場合は、ヘッドセットのPTTボタン(もしくはマルチファンクションキー)で操作ができます。

⑦ ヘッドセットを使う

ヘッドセット（イヤホンマイク）を接続して利用することもできます。



ヘッドセットが未接続の場合は、赤い三角のインジケータが点灯します。接続すると消えます。



※ヘッドセットのマルチファンクションキー(音楽再生ボタン/電話受話ボタン)で、PTTボタンのON/OFFが可能です。（すべての操作を保証するものではありません）

⑧ 音量調整をする

基本はスマホ本体のボリュームボタンで音量調節をしてください。細かな設定はアプリ上の[音量調節ボタン]でも可能です。



音量調節ボタン



その他： Bluetooth接続のヘッドセットを利用する

1. ワイヤレスPTTイヤホンマイク(CSEM-200BT) もしくはNYSNO-100を、スマホとBluetooth接続します。



CSEM-200BT



NYSNO-100

※ヘッドセットの操作、スマホの操作については、それぞれのマニュアル(ヘルプガイド)をご覧ください。

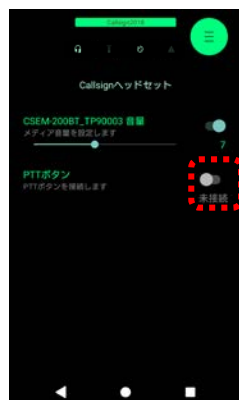
2. グループ選択画面の右上にある[各種設定ボタン]から、[Callsignヘッドセット]を選択します。



各種設定画面



3. [PTTボタン]を押して<接続中>にし、ヘッドセット側もBLEをペアリングモードにします。



押すと、<接続中>になりますので、30秒以内のヘッドセットとペアリングをしてください。

4. ペアリングがされると、ヘッドセットの情報が表示されます。



接続されたヘッドセットの情報(機器名、バッテリー残量など)が表示されます。

[PTTボタン方式]...PTTボタンの操作方法を切り替えることができます。

[サイドトーン]...ONにすると、自分の声を聞きながら話すことができます。

※ヘッドセットの詳細な操作は、ヘッドセットのマニュアル(ヘルプガイド)をご覧ください。

※ヘッドセットの機能については、ヘッドセットのマニュアル(ヘルプガイド)をご覧ください。

その他：インテリジェントノイズフィルター機能

1. グループ選択画面の右上にある各種設定ボタンを押します。



各種設定画面

2. [インテリジェントノイズフィルター]のボタンを押すとON/OFFが切り替えられます。



デフォルトの設定はONになっています。

インテリジェントノイズフィルターとは

…ソニーの音源分離技術を用いて、周囲の雑音を分離、低減し、人の声を強調して相手に送ることができる機能です。

インテリジェントノイズフィルター OFF

周囲の雑音も相手に聞こえる



インテリジェントノイズフィルター ON

雑音を除去して声を強調する



※周囲の音が人の声より大きい場合や、既設インカムと連携させて使用する場合に、声も除去される場合があります。その場合は、インテリジェントフィルターの機能を<OFF>にしてください。

その他：VOX機能（自動発話機能）

1. ヘッドセットを接続すると、電源ONの状態で左下に、[VOXボタン]が表示されます。



ヘッドセットが接続されていない場合は、表示されません。

VOXボタン

2. マイクが音声を感知したときに自動でPTTボタンがONになり、ハンズフリーで通話ができます。



声を出すと、PTTボタンがオレンジになり、自動で送話されます。

※注意
周囲の音が大きい場合は環境音を拾い、VOX機能が反応する場合があります。

その他：各種設定画面

1. グループ選択画面の右上にある各種設定ボタンを押します。

2. 各種設定画面になります。



各種設定画面



※ 各種設定項目

「サーバー選択」

…接続するサーバーを選択します。ご契約をされている企業様がご持ちのサーバー名に接続してください。無料機能は「Trial Project」というサーバー名になります。

「Callsignヘッドセット」

…Bluetooth接続でヘッドセット(CSEM-200BTおよびNYSNO-100)を利用する場合に、PTTボタンのペアリングを行います。※ヘッドセットの詳しい操作については、ヘッドセットのマニュアルをご覧ください。

「低遅延」

…遅延を制限します。ONの場合は一時的に遅延が発生した場合には早送りに対応します。OFFの場合は、遅延量がやや大きくなりますが安定性が優先されます。

「インテリジェントノイズフィルター」

…ソニー独自開発の音源分離技術（AI技術）により、周囲の雑音や風切り音などのノイズを取り除き、聞き取りやすい会話を実現する機能です。ON/OFFの切り替えができます。人の声より周囲の音が大きい場合や既設インカムと連携をして使用する場合は、OFFにしてください。（デフォルトはONです）

「効果音」…「操作音」と「PTT呼出音」のON/OFFと音量を調整できます。

「操作音」…電源ボタンなどを操作した場合に音を鳴らします。効果音がOFFの場合は鳴りません。

「PTT呼出音」…PTTボタンを操作した場合に音を鳴らします。効果音がOFFの場合は鳴りません。

「トーク受信音」…音声を受信する前に、トーク受信前に効果音を鳴らします。デフォルトはOFFです。

「自動PTTオフ」

…PTTがONの時に、任意の時間が経過すると、自動でPTTボタンをOFFにすることができます。マイクの切り忘れなどを防ぐ際に利用できます。デフォルトはOFFです。

「会話モード」

…インカムモード（双方向通話）とトランシーバーモード（交互通話）を切り替えます。（ヘッドホンを使わない場合は、トランシーバーモードとなります。）

「音声デバイスの限定」

…音声デバイスをヘッドセットに限定する場合はONにします。（ヘッドセットが誤って抜けたときに、端末から音声を出さないようにするため。）

「サーバーとの時間同期」

…サーバーとの同期時間の誤差を表示します。サーバーとのネットワーク接続速度の目安になります。

※ こんなときはどうする？

・ サーバーに接続できない

- ※右図のように通常時計が表示されているエリアに「サーバーに接続できません」と表示されます。
- ※また、通信ができていない効果音「ブブブー」が流れます。
- ―スマホの通信状況をお確かめ頂き、通信環境の良い場所でお使いください。
- ―ブラウザなどで外部インターネットに接続可能かお確かめください。
- ―ローカルネットワークをご利用の場合は、ファイアーウォールなどで制限されている場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ―それでも解決しない場合は、アプリの再起動を行ってください。



・ 音が聞こえない

- ―スマホ端末のボリュームを確認してください。
- ―ヘッドセットがきちんと刺さっているか確認してください。
(画面上に赤い三角マークがある場合は認識されていません)
- ―アプリの音量調節は適切かどうか確認してください。(3ページ参照)
- ―スマホ端末の時間が自動設定になっているか確認してください。
(アプリ画面でカウントされる時計が実際の時刻と合っていないと音声の送受ができません)

・ ヘッドセットのPTTボタンが使えない

- ―設定画面の一番下部の「アプリを終了する」で一度アプリを落としてください。
- ―ヘッドセットをさした状態で、アプリを再起動させてください。

・ 自分の声が戻ってくる。

- ―音量調整の画面(3ページ)で【ECOH】がOFFになっていることを確認してください。

・ Siriや音声検索が起動してしまう。

- ―7ページ以降を参考にSiriの起動や、Googleアプリの起動を停止することを推奨します。
(OSの基本設定では、イヤホンのボタン長押しで他のアプリが起動するようになっています。)

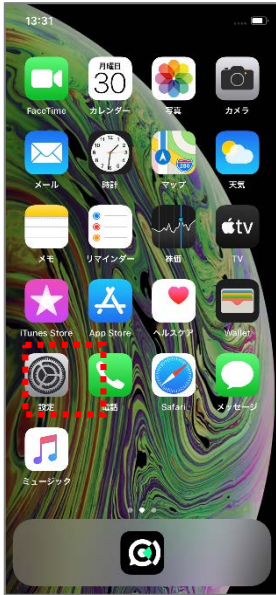
※ 無料版アプリの機能制限

- ・ 接続は1グループのみです。
- ・ 1グループに参加ができるのは5名までとなっています。6人目は電源はONになりません。
- ・ 1時間のうち1人当たりが送話できる時間(マイクがONになっている時間)が、累計10分までです。
(送話開始から1時間後リセットされ、再度送話できるようになります。)

★ Siri及び音声コントロールを無効にする方法（1／2）

iPhoneをお使いの場合、ヘッドセットを接続しヘッドセットのPTTボタンを長押しすると、Siri（もしくは音声コントロール）が起動する場合があります。その場合は、Siriの起動をOFFにする必要があります。（OSのバージョン、スマホの機種によって画面の表示が異なります。）

1. ホーム画面から「設定」を選択する。



2. 次に「アクセシビリティ」の順に選択する。



3. “身体および動作”という項目の中から「サイドボタン」もしくは「ホームボタン」を選択する。



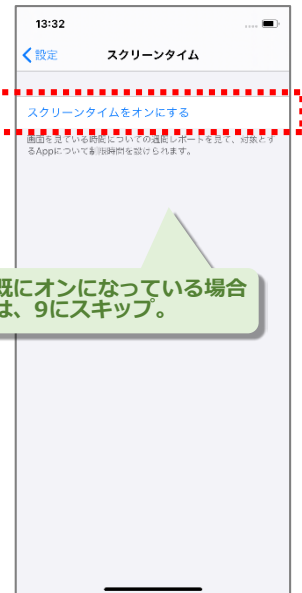
4. “押したままにして話す”という項目の中の、「Siri」にチェックをする。



5. 次に、「設定」画面まで戻り、「スクリーンタイム」を選択する。



6. スクリーンタイムがオフになっている場合は「スクリーンタイムをオンにする」を選択する。

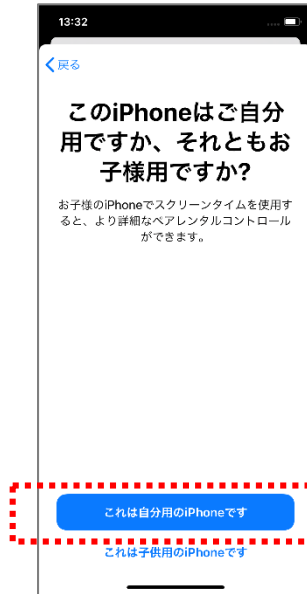


★ Siri及び音声コントロールを無効にする方法（2／2）

7. 「続ける」を選択する。



8. 「これは自分用のiPhoneです」を選択する。



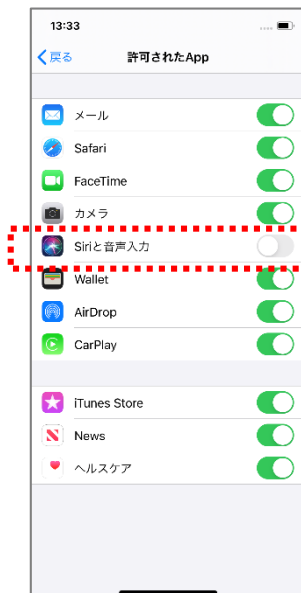
9. 「コンテンツとプライバシーの制限」を選択する。



10. 一番上の「コンテンツとプライバシーの制限」を有効にして、「許可されたApp」を選択する。



11. 「Siriと音声入力」を無効にする。



★ Googleの音声検索の起動を無効にする方法

Androidのスマホをお使いの場合、ヘッドセットを接続しヘッドセットのPTTボタンを長押しすると、Googleの音声検索が起動する場合があります。その場合は、Googleを「無効」にする必要があります。（OSのバージョン、スマホの機種によって画面の表示が異なります。）

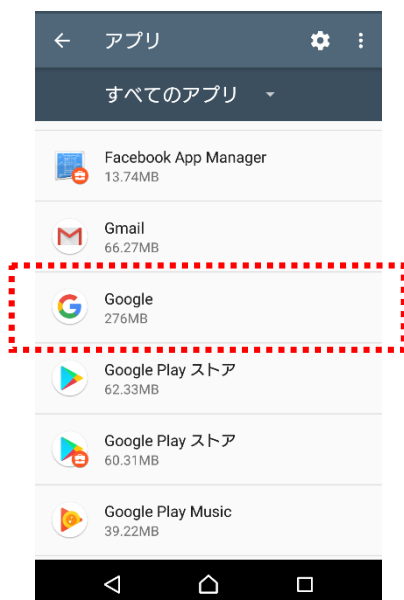
1. ホーム画面、アプリ選択画面から「設定」を選ぶ。



2. 次に「アプリ」を選択する。



3. アプリ一覧の中から「Google」を選択する。



4. 次に、「無効にする」を選択する。



無効にすると、ホーム画面やアプリ選択画面からアイコンが消えます。復元する場合は、同じ作業でアプリを有効にしてください。